

ふるさとゆかりの 偉人マンガの製作と活用事業

2022 年度 実施・募集要項

2021 年 9 月改定版

公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団



も く じ

1. 目的 2
2. 事業概要 2
3. 助成金について 4
4. 留意事項 6
5. Q&A 7

1. 目的

少子高齢化や人口減少の加速化など、地域社会の環境が大きく変わる中、子供たちのふるさとへの愛着や誇りを育むとともに、ふるさを担おうとする姿勢や国際社会の中でより良く生きていく力を育むことが求められている。そこで、ふるさとゆかりの偉人に関するマンガを地域の皆さんの協働で製作し、地元の小中学生への配布および活用を通じて、ふるさとへの興味関心の向上（郷土教育）、将来の生き方や生活を考えるきっかけ（キャリア教育）につなげることを目的とする。

2. 事業概要

(1) 実施内容

- ・自治体ゆかりの偉人※1に関するマンガの製作と発行
- ・学校授業の導入や公共施設の配架等、マンガを活用した事業展開

※1 『自治体ゆかりの偉人』の定義

- ・申請自治体の出身や、申請自治体に居住したことがあり、歴史・文化・産業・福祉・教育などの活動分野について、顕著な功績が認められる人物
- ・子供達が生きる指針となる人物
- ・子供達の人格形成に資する人物
- ・自治体内で後世に語り継ぎたい人物
- ・同一テーマおよび血縁関係等のつながりがある場合に限り、複数人の偉人を題材とすることを可とする
<対象外>
- ・既に書籍等が発行され、全国的に名の知られている人物（例）織田信長
- ・十分な資料がなく、功績が検証できない人物

(2) 実施期間

- ・マンガの製作と発行：2022年4月～2023年3月までの1年間
- ・マンガを活用した事業展開：2023年4月～

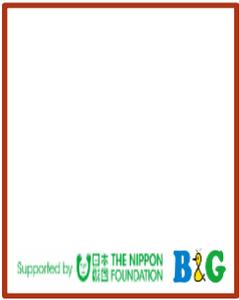
(3) 助成対象

- ・海洋センター所在自治体で2020年度海洋センター評価がA以上の自治体
- ・海洋クラブ所在自治体で2020年度海洋クラブ評価がA以上の自治体
- ・海洋センター・クラブ所在自治体以外でB&G財団支援による各種事業実施自治体

(4) 製作物（偉人マンガ本）の規格等

- ・サイズ：B6判（横128mm×縦182mm）
- ・頁数：100頁以上
- ・製作部数：1,000部以上

・以下の通り、文言・ロゴを挿入すること

	表紙	裏表紙	背表紙
文言・ロゴ	「マンガふるさとの偉人」	日本財団助成事業マーク B&G 財団ロゴ	「マンガふるさとの偉人」ロゴ
サイズ	サイズ・フォント・文字の色は 問いません	問いませんが、イメージ図の とおりよく見える位置に挿入 してください	上端 5mm あげる 横 5mm×縦 45mm
場所	問いません	下部	上部中央
イメージ			

※日本財団助成事業マーク、B&G 財団ロゴ、マンガふるさとの偉人ロゴのデータは助成決定後、お送りします。

(5) 助成要件

申請にあたっては、**以下の要件をいずれも満たすことが必須**となります。

- ・「マンガ製作活用検討委員会」の立ち上げを行うこと ※1
- ・マンガの製作後、配布のみで終わらずに事業展開を行うこと ※2
- ・配布対象者数が 1,000 人以上であること
(例えば、自治体内全小中学生 1,000 人および図書館等の利用者 500 人など)
- ・助成が決定した場合、原則として期間内にマンガを製作できること
- ・原則、自治体内あるいは道府県内ゆかりの漫画家が執筆すること（プロアマ問わず、学生も可）

※1 「マンガ製作活用検討委員会」

- ・製作および事業展開について総合的に検討する組織です。以下の事例はあくまで参考ですので、各自治体の状況に併せてご検討ください。
- ・生涯学習センターの管理団体や文化財保護委員会等、自治体既存の組織と連携した併用開催も可とします。

検討項目	担当者・構成員（例）
資料収集および シナリオの作成	教育長、郷土に関する研究者、教員、学校教育担当、学校長、資料館長、 大学教授、偉人の縁者などの有識者
展開方法について の協議	新聞社（道府県紙等）やマンガの執筆が可能な人
監修・校正	偉人に関する有識者

※2 事業展開方法について（例）

学校授業（総合学習・道徳等）への導入は必須とし、各自治体で特色のある展開をご検討ください。

なお、協議にあたり B&G 財団職員が参画させていただく場合があります。

<活用例>

- ・マンガを用いた授業（偉人についての調べ学習等）
まずは 1 学年 1 クラスからの活用といった段階的な活用も可とします。
- ・図書館や公民館、資料館など公共施設との連携（企画展の開催等）
- ・観光振興の部署と連携（観光キャンペーンとの連携等）
- ・自治体 HP での作品紹介 など

3. 助成金について

(1) 助成金の補助率および助成金額の上限

対象経費	補助率	上限金額
偉人マンガの製作と発行に係る直接事業費のみ対象	100%以内	3,000,000 円

※上限金額を超える場合、自治体予算や各種補助金等を加算することは可能です。

(2) 対象経費と対象外経費

①助成対象となる経費

- ・執筆料、印刷製本費、委員会における外部有識者への謝金、監修料、編集費など、マンガの製作と発行に係る経費
- ・今後のデジタル授業や「GIGA スクール」の対応を鑑みて、マンガ本に加え、電子マンガの経費も助成対象とします。

※委託費の金額や割合等に応じて、その根拠となる資料の提出を求める場合があります。

②助成対象とならない経費

- ・自治体職員の人件費
- ・自治体等で恒常的に使う光熱費・通信費
- ・自治体等で恒常的に使う備品の購入費（パソコン、コピー機、デジカメ、プリンター等）
- ・領収書がないもの、取得できないもの
- ・その他、事業実施に直接関係のない費用

(3) 助成対象数：

2022 年度：30 か所程度

(4) 申請から精算までの流れ

① 実施申請書の提出【自治体】

2021年12月16日(木) 〆切

「実施申請書」(様式1)をB&G財団企画課まで提出してください。

(郵送、コンパスメッセージ(押印後PDFカラー)、もしくは企画課メール宛に提出)

② 審査【B&G財団】

経費の適正性、マンガを活用した事業展開内容等の項目から総合的に判断します。

③ 日本財団助成申請【B&G財団】

④ 内示通知【B&G財団】

2022年2月下旬 日本財団からの内示連絡を受け、内示を通知します。

⑤ 予算明細書・活用計画書等の提出【自治体】

2022年3月25日(木)までに、「予算明細書」「製作後の活用計画」「スケジュール」に変更が生じる場合のみ、変更様式(後日送付)をB&G財団企画課まで提出してください。

予算の根拠資料として見積書等の提出を求める場合があります。

⑥ 助成金額の決定通知【B&G財団】

2022年4月1日(木)以降に、決定通知を発信します。

⑦ マンガの製作・発行および活用の協議【自治体】

2022年4月～2023年3月の間に「マンガ製作活用検討委員会」による製作物(偉人マンガ)の企画および事業展開の検討を行うとともに、製作・発行を行ってください。

⑧ 助成事業完了報告書の提出【自治体】

2023年3月上旬を目途に「助成事業完了報告書」(後日送付)、製作物(マンガ本、PDF)、証憑書類等をB&G財団企画課まで提出してください。

⑨ 監査【B&G財団】

製作物や領収書等証憑書類について監査します。

⑩ 助成金の振込【B&G財団】

監査後、2023年3月末日までに支払います。

※マンガを活用した事業展開(学校授業等) 2023年4月～

4. 留意事項

(1) 申請から内示までの確認事項

企画から製作・完成まで時間を要する場合もあることから、申請後に次の事項を行うことを推奨します。

- ・対象となる偉人の資料収集、調査等
- ・予算明細書の作成
- ・製作から配布までのスケジュール策定
- ・「マンガ製作活用検討委員会」委員の人選

(2) 証憑書類について

証憑書類（領収書等）について、次の事項の記載が必要です。

- ・宛名：事業申請者名（自治体名など） ※空欄・上様は助成対象外
- ・摘要：購入品の内容を記入
- ・日付

(3) 「助成事業」表示について

B&G財団および日本財団の助成事業であることを地域住民の方にご理解いただくため、製作物にB&G財団ロゴと日本財団助成事業である旨を表示してください。（データファイルは後日送付）

(4) 広報展開について

可能な限り広報活動を行い、新聞等メディア掲載がありましたら、B&G財団へご提出ください。また、自治体広報誌を活用して事業の周知やPR活動を行ってください。

※本事業は、日本財団助成事業申請予定です。助成が決定した場合のみ実施しますので予めご了承ください。

5. Q&A

Q1：外部に委託するのは可能か

A：原則可能です。ただし助成要件に記載してあるように、自治体の職員や地域の有識者を含めた委員会を必ず設置し、業者等と協議しながら事業を実施してください。

委託した場合は事業完了報告時、自治体の規定に基づく業者選定の基準や入札方法、領収書、費目ごとに記載した明細等を別途提出してください。

Q2：自治体内で漫画家を見つけるのが難しい

A：自治体内にいない場合は、道府県内外まで範囲を広げての検討も可能です。ただし、偉人・自治体・道府県に何らかのゆかりがある方を選定してください。

プロ・アマチュアは問いません。アニメーター・デザインに関する専門学校等の学生や、大学・高校のマンガ部を活用するという選択肢もあります。詳細につきましては、企画課までご相談ください。

Q3：1冊の中で複数人の偉人を題材にすることは可能か

A：原則1人とします。ただし、同一テーマおよび血縁関係等のつながりがある場合に限り、複数人の偉人を題材とすることを可とします。

Q4：マンガのみならず、資料集をつけたい

A：可能です。ただし、総頁数に応じて掲載可能頁数が異なります。

マンガ+資料集で100頁とする場合	100(全体)×10%=10頁程度
マンガのみで100頁以上となる場合	資料集の頁制限はありません

《マンガ以外の頁 参考例》

- ・年表や写真、ゆかりのある史跡などの説明。
- ・マンガでは扱わなかった、自治体にゆかりのある偉人についての紹介と説明。
- ・漫画家のコメント、製作委員会の構成メンバーなど、地域で製作したことがPRできるような頁。

Q5：事業内容の変更について

A：①予算

マンガの製作にあたり、当初予定していなかった支出が生じる可能性や、費目間の流用が発生する場合があります。変更は可能ですが、変更前に随時企画課までご相談ください。

②活用計画

学校授業への導入は必須としていますが、申請時からの変更は可能です。事前に企画課までご相談ください。

Q6：助成終了後、場合に応じて増刷したいが可能か

A：可能です。マンガの著作権については、B&G財団は保持しません。

Q7：著作権の扱いはどこになるのか

A：各自治体にお任せしますが、B&G財団で二次使用を行う場合がありますので、ご承知おきください。

(例) HPで掲載等

また、依頼する漫画家との契約時にも、二次使用の場合が生じることをお伝えください。

Q8：マンガ本に加えて、電子マンガの経費も助成対象となるか

A：対象となります。デジタル授業や GIGA スクールの対応など、積極的に活用してください。なお、電子マンガのみの製作は対象外です。

Q9：助成金の支払いについて

A：支払い先は自治体の口座です。

Q10：先行事例があれば知りたい

A：長崎県大村市にて、日本財団の助成を受け、「まんがおおむら偉人伝 石井筆子」を製作・配布しています。

表紙・裏表紙		
		<p>部数：10,000冊 DVD 25枚 仕様：B6判 127頁</p>
内容		
プロローグ		
石井筆子の歩み：写真や資料で紹介		

Q11：採択された自治体について知りたい

A：2021年度は30自治体が採択となりました。自治体名と、題材とする偉人については以下の通りです。

	都道府県	市町村	偉人名
1	北海道	大空町	根岸 錦蔵
2	宮城県	蔵王町	北原尾に生きる人々（高橋進太郎、村山格一郎等）
3	秋田県	由利本荘市	小松 耕輔
4	茨城県	笠間市	田中 友三郎
5	栃木県	下野市	下毛野古麻呂
6	埼玉県	久喜市	中島 撫山
7	新潟県	佐渡市	有田 八郎
8	長野県	生坂村	加藤 正治
9	岐阜県	中津川市	前田 青邨
10	静岡県	牧之原市	田沼 意次
11	静岡県	袋井市	三浦 環、三浦 政太郎
12	愛知県	豊川市	曾田 梅太郎
13	滋賀県	長浜市	雨森 芳洲
14	兵庫県	新温泉町	加藤 文太郎
15	鳥取県	北栄町	豊田 太蔵
16	島根県	美郷町	中原 芳煙
17	岡山県	備前市	熊沢 蕃山
18	岡山県	和気町	和気 清麻呂
19	岡山県	笠岡市	茅原 基治
20	広島県	北広島町	鑿光（本名：石村 日郎）
21	愛媛県	鬼北町	井谷 正命（いたに まさみち）、井谷 正吉（いたに まさよし）
22	高知県	津野町	片岡 信子
23	福岡県	築上町	築城郡筋奉行延塚卯右衛門
24	佐賀県	鹿島市	田澤 義鋪
25	佐賀県	みやき町	古賀 稔彦
26	熊本県	菊池市	菊池 武光
27	熊本県	湯前町	那須 良輔
28	大分県	竹田市	田能村 竹田
29	大分県	国東市	三浦 梅園
30	鹿児島県	長島町	飯尾 裕幸

※採択自治体の取り組みが掲載された新聞記事を同封します。ご参考になれば幸いです。

－問合せ先－ B&G 財団 企画部企画課
担当：竹谷・根本・西村
TEL：03-6402-5311
Mail：kikaku@bgf.or.jp

(様式1)

見本

〇〇〇〇第〇〇号
2021年〇月〇〇日

公益財団法人
ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
会長 前田 康吉 様

〇〇〇〇市町村
(市町村)長 〇〇〇〇〇 印

海洋センター所在自治体による偉人マンガの製作と活用事業 実施申請書

偉人マンガの製作と活用事業について、下記のとおり計画しておりますので、これに係る費用を助成申請いたします。

記

1. 偉人名

偉人名	偉人の功績と選定理由
名前 (生年～没年)	【功績】 【選定理由】

2. 助成金申請額

助成金申請額 (A)	3,000,000 円
自己負担額 (B)	0 円
事業費総額 (A+B)	3,000,000 円

3. 事業費内訳

費目	算出根拠	合計金額
印刷製本費	@200 円×3,000 部=600,000 円	600,000 円
マンガ執筆料	@15,000 円/P×130P=1,950,000 円	1,950,000 円
委員会謝金	@5,000 円×4 回×10 人=200,000 円	200,000 円
監修料	@25,000 円×2 回×2 人=100,000 円	100,000 円
カバー表紙 デザイン料	150,000 円	150,000 円
合	(上記「事業費総額 (A+B)」と同額)	3,000,000 円

※必要に応じて行を追加してください。

業者委託する場合、表のように費目を分け、費目毎の算出根拠を記載してください。

4. 配布対象者および人数

対象者	人数（部数）	人数（部数）合計
市内小中学生（○校）	2,500	3,000
△博物館、○図書館（公共施設）	300	
教育関係者	150	
予備	50	

5. 製作後の活用計画

(1) 活用計画①

概要	市内の小学校（○校）において、総合学習の時間に△年生を対象に実施。
時期	2022年○月～△月
場所	○○小学校および△小学校
対象	△年生（○人）
内容	マンガを用いて偉人についての授業を行ったのちに、より深く理解するためにグループで調べ学習を行う。 最終的には身近な存在である自分たちの先祖について個々で調べ、発表を行う。
期待される効果	子供たちが地域をより知り、郷土愛を深めることにつながると思われる

(2) 活用計画②

概要	図書館における企画展の開催
時期	2022年○月～△月
場所	○○図書館
対象	地域住民
内容	マンガの題材となった偉人に関する書籍を集め、マンガも含めて紹介する。 書籍を読んだ地域住民の方に、おすすめポイント等を自由に記載したPOPを作成してもらい館内に掲示。 偉人についての簡単なクイズイベントも行う。
期待される効果	地域ゆかりの偉人の認知度向上。

※必要に応じて、上記をコピーして以下に記載してください。

6. 製作スケジュール (年間)

No.	年/月	内容
1	2022/4	製作およびマンガ活用検討委員会 打合せ① (ストーリーについて)
2	2022/5	打合せ② (原案作成)
3	2022/6	漫画家への依頼⇒執筆
4	2022/7	
5	2022/8	
6	2022/9	
7	2022/10	委員による監修および校正、表紙カバーのデザイン製作
8	2022/11	編集作業、打合せ③ (製作後の展開方法について)
9	2022/12	印刷・製本
10	2023/1	偉人マンガの完成
11	2023/2	打合せ④
12	2023/3	最終確認

7. 連絡責任者

所属	虎ノ門教育委員会
役職・氏名	虎ノ門 太郎
住所	〒105-8480 東京都港区虎ノ門 3-4-10 虎ノ門 35 森ビル 9F
T E L	03-6402-5311
Email	kikaku@bgf.or.jp

(様式1)

〇〇〇〇〇第〇〇号

2021年〇月〇〇日

公益財団法人

ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

会長 前田 康吉 様

〇〇〇〇市町村

(市町村)長 〇〇〇〇〇 印

海洋センター所在自治体による偉人マンガの製作と活用事業 実施申請書

偉人マンガの製作と活用事業について、下記のとおり計画しておりますので、これに係る費用を助成申請いたします。

記

1. 偉人名

偉人名	偉人の功績と選定理由

2. 助成金申請額

助成金申請額 (A)	円
自己負担額 (B)	円
事業費総額 (A+B)	円

3. 事業費内訳

費目	算出根拠	合計金額
		円
		円
		円
		円
		円
合計 (上記「事業費総額 (A+B)」と同額)		円

※必要に応じて行を追加してください。

4. 配布対象者および人数

対象者	人数	人数合計

5. 製作後の活用計画

(1) 活用計画①

概要	
時期	
場所	
対象	
内容	
期待される効果	

(2) 活用計画②

概要	
時期	
場所	
対象	
内容	
期待される効果	

※必要に応じて、上記をコピーして以下に記載してください。

6. 製作スケジュール (年間)

No.	年/月	内容
1	2022/○	
2	2022/○	
3	2022/○	
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		

7. 連絡責任者

所属	
役職・氏名	
住所	〒
TEL	
Email	